

平成27年(2015年)1月23日 (金曜日)

# 今期売上高 過去最高目指す

## 電子機器・問屋向けなど拡販

### 大和合金

銅合金の鑄造・鍛造品メーカーである大和

合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)は今年度、過去最高となる43億円の売

上高を目指す。昨年度は38億円で、約1割の増収となる。スマートフォン向けなど電子機器関連の素材が堅調。加えて伸銅品問屋向けの出荷も好調に推移している。併せて海外販売が順調に拡大していることも増収に貢献する見通しだ。

これまでの最高はリーマンショックによる世界不況前の07年度で、42億7千万円。今期は品質や納期、コストなどで対応力を磨きながら過去最高を目指す考えだ。

電子機器向けや問屋向けに加えて、自動車への生産などで用いられる溶接電極の素材も順

調。海外への販売は航空機関連の部材が中心で、昨年度から大幅に増えた。アジアへの出荷が拡大したほか、中南米向けで新規の受注を獲得したことが販売増をけん引している。

萩野社長は「リーマンショック後、売上高は大きく減ったが、足元は好調だ。現在の調子でいけば過去最高の更新が見えてくるのでは」と期待する。今後にも需要は拡大する見通し。高まるニーズに対応した設備投資を進めるとともに、新規分野の開拓を推進。来年度の売上高は前期比約5%増となる45億円を目標とする。